

2 - 2 岩手県北部の地震活動 (1986 年)

Seismic Activity in the Northern Part of Iwate Pref. (1986)

仙台管区气象台

気象庁地震予知情報課

Sendai District Meteorological Observatory
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

1. 地震発生状況の概要

本年5月26日から7月31日にかけて、岩手県北部（奥中山付近）で地震活動が活発化した。

この一連の地震活動では、5月26日11時59分頃、マグニチュード4.7の地震（Mの最大）が発生し、宮古で震度3、盛岡、大船渡、八戸で震度2を観測した。その後、余震が続いたが、これらの地震は震源の深さが十数キロメートル以浅で、震央付近では数多くの地震を感じた。6月26日以降、しばらく地震は観測されなかったが、7月下旬になって、ほぼこの付近で3回の地震を観測した。なお、気象官署で有感回数は5回であった（本文末尾の有感地震表参照）。

今回の地震についての震央分布を示せば、第1図（a）のとおりとなる。また、震源が決定された地震の日別回数を第2図に、26日11時59分（M4.7）の地震（ $40^{\circ}04.9'n \cdot 141^{\circ}12.3' \cdot 10 \text{ km} \cdot \text{OT} : 11^{\text{h}}59^{\text{m}}35.2^{\text{s}}$ ）のメカニズム解を第3図に示した。西北西—東南東主圧力軸の逆断層である。

2. 現地調査結果の概要

5月26日11時59分頃からの地震について、奥中山付近の住民から問い合わせが多く、气象台アメダス観測所（奥中山）の雨量計が時々地震動による転倒ますの動きと思われる誤動作をした。このため奥中山付近を中心に現地調査を行った。

この地域の住民によると、26日12時頃の地震ではドーンという地鳴りを伴い、持ち上げられるような感じの揺れであった。その後、28日にかけて十数回、地鳴りや揺れを感じたとのことであった。

奥中山、田子、上小友では、墓石がずれたり、転倒するなどの状況がみられたほかは、特に被害の発生はなかった（県警にも被害報告なし）。

3. この付近における過去の地震活動

過去の地震についての震央分布は第1図（b）のとおりである。また、参考のため主な群発性地震の活動概要についても、以下（1）～（3）に示した。

(1) 昭和8年8月～11月 二戸郡一戸町奥中山

8月27日奥中山付近で、大爆発のような音と同時に強い地震動があり、戸障子が外れたり棚からものが落下するなどしたが、24日夜にも約1時間にわたって鳴動があり、有感範囲は十数キロメートル四方で、震源は奥中山駅の西方数キロメートル付近と推定された。

9月6日夜の地震では、地震と同時に七時雨山（震源地付近）に虹のような光象が2時間

にわたって現れ、鳴動のたびに消長があった。

地震はその後静まったが11月頃まで断続した。

(2) 昭和10年4月 二戸郡一戸町奥中山

2日17時半奥中山駅付近で、大きな地響きが4回続き、さらに3日6時40分頃前日よりも強烈な地響き、鳴動があった。

(3) 昭和42年1月 二戸郡浄法寺町

1月に入って毎日と言ってよいほど浄法寺町を中心としたごく狭い地域で、ズシンという鈍い音と同時に1～2秒の地震動を感じ、日に2～3回の場合もあった。もっとも強かったのは1月10日で棚の物が落下した。浄法寺町内でも、地なりだけで地震を感じないものが多く、十数キロメートル離れた安代町では地鳴り、地震ともはずっと少なかった。

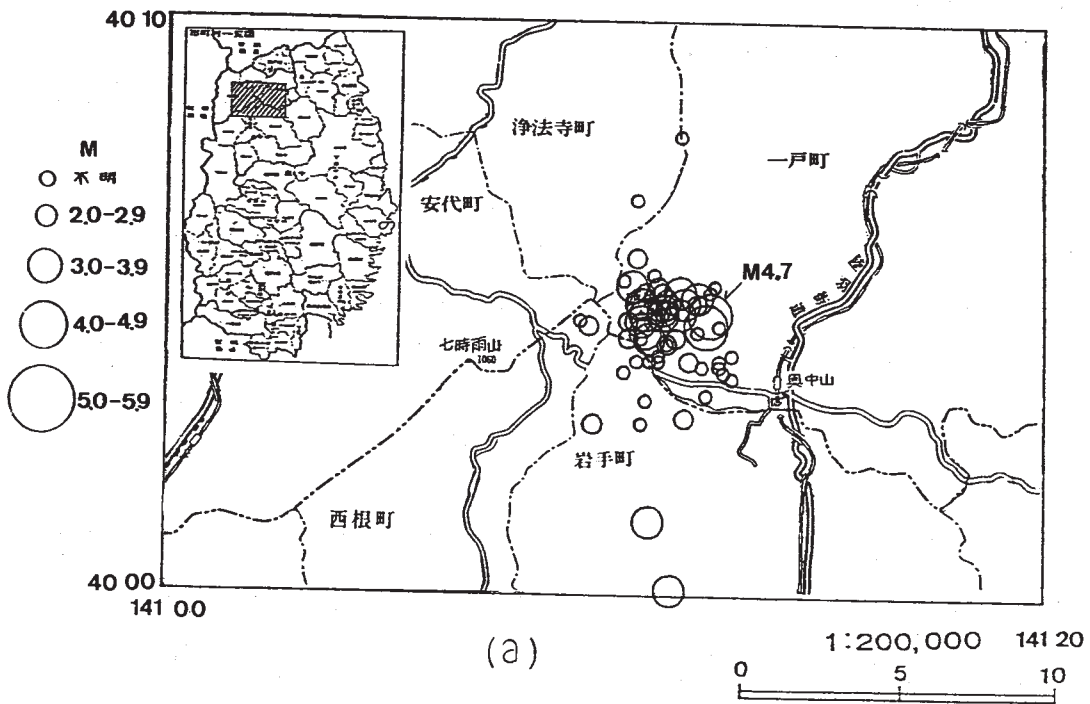
気象官署での有感地震表

年 月 日	時 分	M	震 度
1986. 5. 26	11:59	4.7	3 : 宮古 2 : 盛岡, 大船渡, 八戸
5. 26	12:11	4.4	2 : 盛岡 1 : 八戸, 大船渡
5. 27	14:50	3.7	1 : 盛岡
7. 31	12:39	3.4	1 : 盛岡
7. 31	12:41	3.5	1 : 盛岡

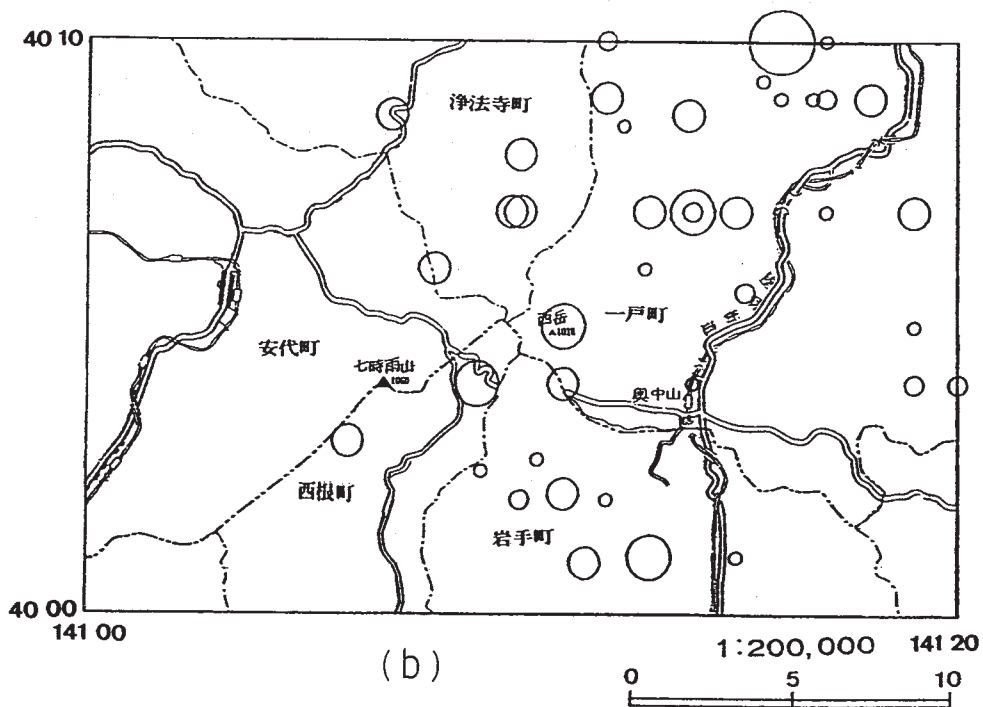
注: 東北地方とその付近では、これ以外にも目をひくいくつかの地震活動があった。

6月3日からの岩手県南部の地震活動 (Mの最大4.7), 8月10日からの青森県南部の地震活動 (Mの最大4.8), 7月1日の栃木県北部の地震 (M4.3) などである。

1986 5 26 --- 1986 7 31



1926 1 1 --- 1986. 5 25

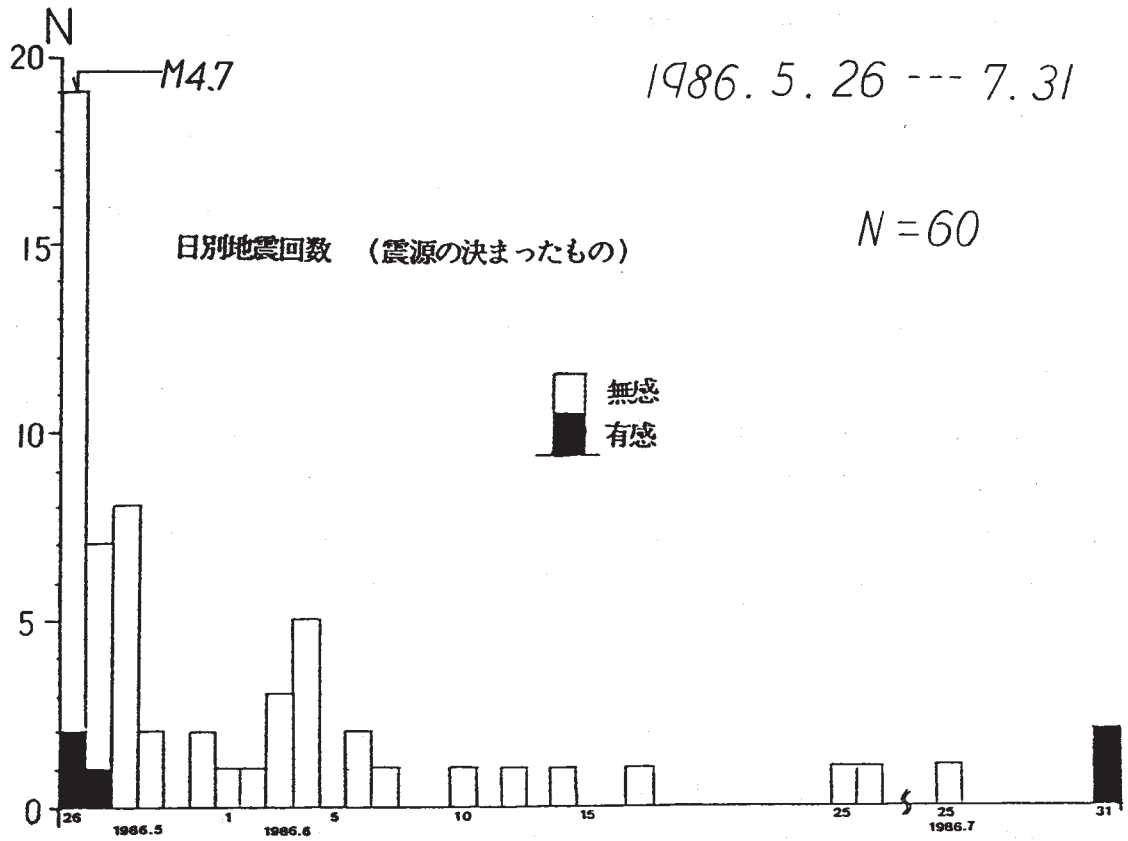


第1図 岩手県北部の地震の震央分布

(a) 1986年5月 - 7月

(b) 1926年1月 - 1986年5月

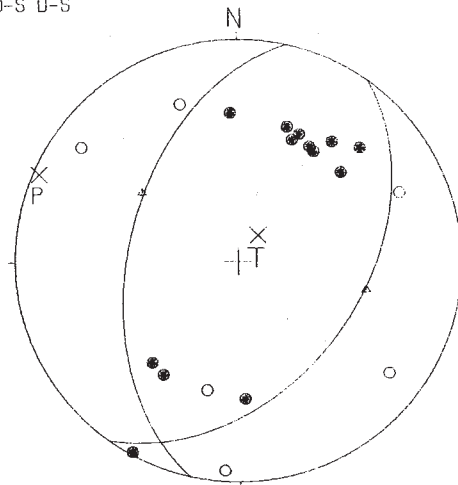
Fig. 1 Distributions of earthquakes in the Northern Part of Iwate Pref. (a) May - July, 1986. (b) January, 1926 - May, 1986.



第2図 仙台管区気象台で震源決定された日別地震回数 (黒部分は気象官署で有感となった地震)

Fig. 2 Daily number of earthquakes, located by the Sendai District Meteorological Observatory. Black area shows felt earthquakes at weather stations.

26 MAY 1986 11 59
 LON.=141.12 LAT.=240 5 H=10 MAG.=4.7
 DIP DIR.=54 DIP DIR.=44 DIP DIR.=257 DIP=49
 P AZ=66 IN=67 T AZ=323 TN=12
 TYPE REVERSE
 D-S D-S



第3図 地震のメカニズム解 (上半球投影)

● : 押し ○ : 引き

Fig. 3 Focal mechanism solutions. (Projected on the upper hemisphere)

● : up ○ : down